

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		徳島文理大学		設置者名		学校法人 村崎学園	
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)		
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数
人間生活学部	人間生活学科	80人	中一種免(家庭) 高一種免(家庭) 中一種免(保健) 高一種免(保健) 養教一種免	平成2年度 平成2年度 平成2年度 平成2年度 平成2年度	71人	63人 19人 21人 18人 24人 49人	13人
	食物栄養学科	90人	中一種免(家庭) 高一種免(家庭) 栄教一種免	平成7年度 平成7年度 平成17年度	102人	1人 0人 1人 -	0人
	児童学科	130人	幼一種免 小一種免	平成2年度 平成2年度	158人	148人 139人 101人	40人
	メディアデザイン学科	60人	高一種免(情報)	平成14年度	38人	14人	1人
	住居学科	40人	中一種免(家庭) 高一種免(家庭)	平成14年度 平成14年度	21人	2人 2人 2人	1人
	心理学科	100人	養教一種免	平成10年度	123人	83人	21人
	人間福祉学科	40人	高一種免(福祉)	平成15年度	-	-	-
音楽学部	音楽学科	55人	中一種免(音楽) 高一種免(音楽)	平成2年度 平成2年度	46人	34人 34人 34人	3人
薬学部	薬学科	140人	中一種免(理科) 高一種免(理科) 中一種免(保健) 高一種免(保健)	平成2年度 平成2年度 平成2年度 平成2年度	138人	0人 0人 0人 0人 0人	0人
	医療薬学科	90人	中一種免(理科) 高一種免(理科) 中一種免(保健)	平成2年度 平成2年度 平成2年度	89人	0人 0人 0人	0人

			高一種免(保健)	平成2年度			0人	
総合政策学部	総合政策学科	100人	高一種免(公民)	平成13年度	84人	10人		0人
文学部	日本文学科	50人	中一種免(国語) 高一種免(国語) 高一種免(書道)	平成2年度 平成2年度 平成2年度	24人	8人	2人	1人
							7人	
							1人	
	英米言語文化学科	50人	中一種免(英語) 高一種免(英語)	平成2年度 平成2年度	12人	4人	3人 4人	1人
コミュニケーション学科	50人	中一種免(社会) 高一種免(地理歴史) 高一種免(情報)	平成5年度 平成5年度 平成13年度	27人	2人	0人 0人 2人	0人	
	文化財学科	50人	高一種免(地理歴史)	平成10年度	45人	11人		0人
工学部	機械電子工学科	80人	中一種免(技術) 高一種免(工業)	平成2年度 平成2年度	40人	2人	2人 1人	0人
	情報システム工学科	80人	中一種免(技術) 高一種免(工業) 高一種免(情報)	平成2年度 平成2年度 平成13年度	65人	0人	0人 0人 0人	0人
	環境システム工学科	80人	中一種免(技術) 高一種免(工業)	平成11年度 平成11年度	22人	0人	0人 0人	0人
	ナノ物質工学科	80人	中一種免(技術) 高一種免(工業)	平成16年度 平成16年度	—	—	— —	—
入学定員合計		1,445人	合計		1,113人	383人		81人
備考	・「免許状取得者数」欄の、左側には各学科等の実人数を、右側には学科等内の教員免許課程ごとの人数を記載している。							

徳島文理大学短期大学部 実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		徳島文理大学短期大学部		設置者名		学校法人 村崎学園	
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)		
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数
一	生活科学科 生活科学専攻	100人	中二種免(家庭) 中二種免(保健) 養教二種免	平成2年度 平成2年度 平成2年度	31人	9人 0人 1人 9人	0人
	生活科学科 食物専攻	50人	栄教二種免	平成17年度	44人	0人	0人
	保育科	140人	幼二種免	平成2年度	111人	102人	6人
	音楽科	30人	中二種免(音楽)	平成2年度	22人	11人	0人
	言語コミュニケーション学科	60人	中二種免(国語) 中二種免(英語)	平成11年度 平成11年度	14人	3人 2人 2人	0人
	商科	80人	中二種免(職業)	平成2年度	25人	0人	0人
入学定員合計		460人	合計		247人	125人	6人
備考	<p>・「免許状取得者数」欄の、左側には各学科等の実人数を、右側には学科等内の教員免許課程ごとの人数を記載している。</p>						

右欄の指摘等にかかる現在の状況		委員による指摘又は指導・助言等
全般的事項	<ul style="list-style-type: none"> 各学部・学科カリキュラム委員会、全学カリキュラム委員会を機能させ、各学科において、児童研究、四国巡礼キャラバンコンサート、児童文化等の特色あるカリキュラムを編成し、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員養成に関する教育課程、教員組織等について、全般的に基準を満たし、良好に実施されている。今後も、自立協同の精神を発揮し、一層の充実を期待する。
個別的事項	教員養成に対する理念等	<ul style="list-style-type: none"> 教員養成に対する理念、建学の精神、運営方針が示されているが、それらを大学全体としてマネジメントし、明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織である全学カリキュラム委員会をより一層充実させるよう努めてほしい。 カリキュラムの作成・実施にあたっては各学部・学科カリキュラム委員会、全学カリキュラム委員会において検討している。
	教育課程 教職に関する科目等	<ul style="list-style-type: none"> 【共通】 授業科目「教師論(初等教育)」「教師論(中等教育)」「教師概論」において、教育職員免許法施行規則(以下「施行規則」という。)に定められている「各科目に含めることが必要な事項」(以下「必要事項」という。)である「進路選択に資する各種の機会の提供等」が含まれていない。 授業科目「教育課程総論(道德教育・特別活動を含む)」において、施行規則に定められている必要事項である「道德の指導法」「特別活動の指導法」が含まれていない。 授業科目「教育情報処理」において、施行規則に定められている必要事項である「教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)」が含まれていない。 教育課程及び指導法に関する科目において、学習指導要領そのものをテキストまたは参考書として使用していない授業科目がある。

	<p>・シラバスは学生と大学との意思の契約である。学生にとってわかりやすく丁寧なものとなるよう改善を図ること。目次だけではなく、授業内容、到達目標を明確にし、教材開発、指導案づくり、模擬授業実施等、内容を工夫し、特色ある授業を期待する。</p> <p>【大学】 ・授業科目「生徒指導(進路指導を含む)」において、施行規則に定められている必要事項である「進路指導の理論及び方法」が含まれていない授業科目がある。</p> <p>・授業科目「教育心理学」において、施行規則に定められている必要事項である「障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」が含まれていない。</p> <p>【短大】 ・授業科目「教育課程研究(特別活動を含む)」において、施行規則に定められている必要事項である「特別活動の指導法」が含まれていない。</p> <p>・授業科目「総合演習」は、本来の科目の設置趣旨に合致していない。</p>	<p>・「総合演習」は、地球環境、異文化理解など人類に共通するテーマや、少子・高齢化と福祉、家庭の在り方など我が国の社会全体に関わるテーマのうち、いくつかのテーマを選択的に設定した上で、ディスカッション等を中心とした演習形式による授業にすること。</p>
教育実習	<p>・特記事項なし。</p>	<p>・実習校等と連携協力が図られているとともに、実習期間中、大学教員が実習校を定期的に訪問するなど、大学として十分な対応が見られるが、さらに実習の成果をあげるために、事前指導、事後指導の授業の工夫を求める。</p> <p>・「今後の教員養成・免許制度の在り方について」(平成18年7月11日答申)において、母校実習の原則禁止が提言されている。今後、地元の学校や幼稚園の積極的活用などもふまえ、母校実習をどのように実施し、改善を図るのか検討してほしい。</p>
教職指導、介護等体験等	<p>・キャンパスガイド、電子シラバスを活用することに加え、各学科ミーティングにおける個別指導を行っている。</p>	<p>・チューター制をはじめとする個別指導や、キャンパスガイド、電子シラバスの活用による一貫した個別指導を評価する。今後も、より一層充実させてほしい。</p>

<p>免許状取得状況及び教員就職状況</p>	<p>・教員就職率が厳しい状況にある。 「免許状取得者数」に対する「教員就職者数」の割合 (平成17年度) 大学:21.1%(正規採用者では4.2%) 短大:4.8%(正規採用者では2.4%)</p>	<p>・「免許状取得者数」に対する「教員就職者数」の割合を真摯に受け止め、その原因を探るとともに、学校教育現場で求められる資質を養成する教育課程が編成されているかどうかについて、その検証に努めてほしい。</p>
<p>施設・設備の状況</p>	<p>・図書館、情報処理センター、音楽ホールなどの設備が充実している。</p>	<p>・教員養成に関わり、実践的指導力の向上を図るための各施設・設備が十分に整備されている。教育環境として高く評価する。</p>